



# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

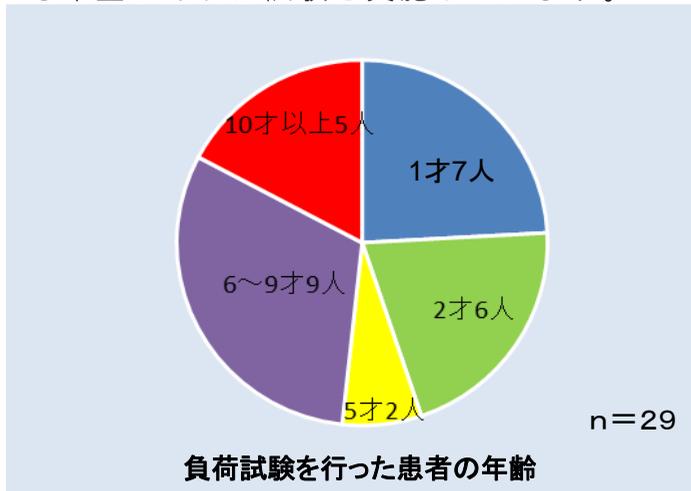
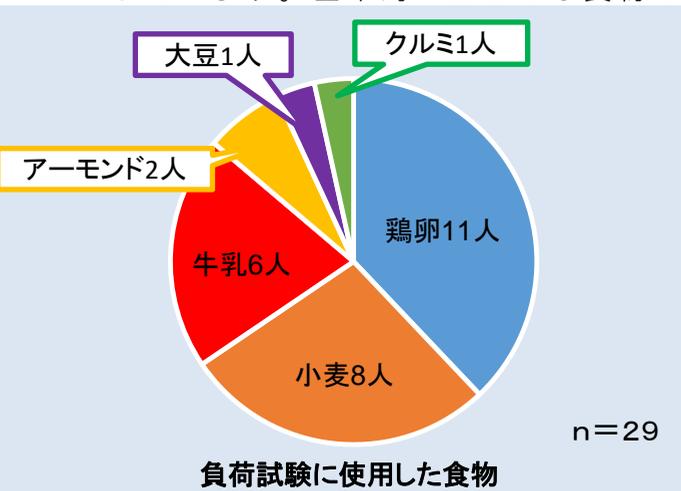
第49号

2023年10月発行

## 小児科：食物アレルギー/食物経口負荷試験

小児科では日帰り入院での経口負荷試験を毎週火曜日に実施しています。2022年は年間29人実施しました。

基本的には漸増摂取法で30分ごとに4～5回の負荷を行っています。重症患者の場合は1時間毎に3回の負荷を行ったり、消化管アレルギーの方には1回の負荷を行うなど、症例に応じてアレンジしています。基本的にはどんな食物であっても希望があれば試験を実施しています。



小児科を受診していただき、食物経口負荷試験の内容や実施日を相談して予約を取っていただきます。長期休暇中は希望者が多く、長期休暇中の実施を希望される場合は早めの受診をお勧めします。ゆでたまご、小麦（うどん）、牛乳など、主立った食品は当院の栄養管理科で用意します。用意できない食品の場合は持参していただきます。

### 食物経口負荷試験のスケジュール

午前8時30分

外来

体調に問題がないか外来にて診察します。

午前9時30分頃

入院・病棟

病棟で食物経口負荷試験を開始。症状を認めれば中断して治療を行います。

午後0時頃

昼食

患児の食物アレルギーに応じて用意されます。

午後1時～2時頃

経過観察・方針説明

アレルギー症状が起きないか経過を観察しながら、今後の食物摂取の方針について説明します。

午後2時～3時頃

精算後退院

症状がなく、入院費用の精算が完了したら退院です。症状が持続している場合は1泊していただく場合があります。

### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 婦人科：子宮頸がん排除にむけての取り組み

子宮頸がんは予防できる疾患であることを強く理解し、予防対策を確実に実施することが重要となりました。現在、本邦では毎年約1万人が子宮頸がん罹患し、約2,800人が亡くなっています。以前は発症のピークが40～50歳代でしたが、最近では20～30歳代での罹患者が増えており、30歳代後半がピークとなっています。家庭的にも社会的にも大きな問題です。

子宮頸がんおよび前がん病変である子宮頸部異形成の発症にはヒトパピローマウイルス(HPV)感染が関与しているため、HPV感染予防が重要！！

2018年に、WHOは子宮頸がん排除のための行動を呼びかけました。すべての国で子宮頸がんの罹患率が4人/10万人/年未満(本邦は現在 14.7人)となることを目指しています。

世界における子宮頸がん罹患率の予測モデルによると、現行の検診を継続するのみでは罹患率は減少しません。HPVワクチンの接種率を80%以上とし、生涯2回の検診を70%以上の女性が受ければ、先進国では2060年頃までに、開発途上国では今世紀中にWHOの排除目標を達成できる可能性があります。HPVワクチンの子宮頸がんの予防効果について、スウェーデン、デンマークから17歳未満で接種すると発症率が86～88%減少したことが報告され、接種年齢が若いほど予防効果が期待できます。

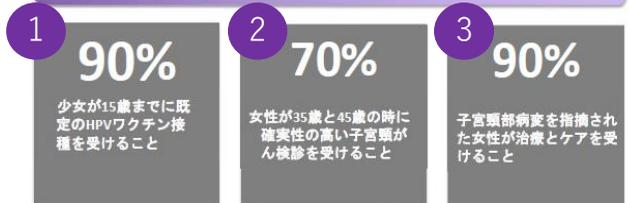
## WHO（世界保健機関）の介入目標

### 子宮頸がん排除のための構造

描いているもの：子宮頸がんのない世界

閾値（排除の基準）：すべての国で子宮頸がんの罹患率が4/100,000人年より少なくなる

#### 2030年の介入目標



SDGs 2030（Sustainable Development Goals 2030）の項目3.4では、子宮頸がんの死亡率を2030年までに30%減らすことを目標にしている。

2030年の目標と排除の閾値は、モデリングの結果とWHOの承認プロセスに応じて改訂される可能性があります。



WHO（世界保健機関）HPより引用

### 当院・婦人科での実践

- ②→市検診の実施
- ③→検診陽性判定者に対して、二次検査(コルポスコピー下生検)

### 結果

- ◆子宮頸部異形成例の定期検査
- ◆子宮頸部高度異形成以上に対する円錐切除術(年間50症例)
- ◆婦人科腫瘍専門医・内視鏡技術認定医の指導下にて施行  
単純子宮全摘術(開腹手術1症例、腹腔鏡下手術2症例)、広汎子宮全摘術(4症例)

広汎子宮全摘術では、排尿障害や下肢リンパ浮腫に注意を要するため神経温存手術・泌尿器科との協働およびリハビリテーション介入で対応しています。手術不能例では、同時化学放射線療法を行っています(8症例)。進行再発子宮頸がん例では、緩和的放射線療法および化学療法を行っています。

近年、化学療法に免疫チェックポイント阻害剤が適応となり、副作用として甲状腺機能障害、薬剤性肺炎・腸炎などに対応する必要があります。婦人科のみではなく、他科、看護師、臨床検査科、薬剤部を含めたチーム医療が必須となっています。残念ながら積極的治療が困難となった場合、緩和ケアチームと協働し、ご本人とご家族の意思を尊重した診療を行っています。

# 医療チーム：精神科リエゾンチームの活動

リエゾンとはフランス語で「連携、橋渡し、つなぐ」を意味する言葉です。精神科リエゾンチームは、身体疾患で入院中の患者さまが何らかの精神心理面の問題を抱えた際に、精神医療と身体医療を「つなぎ」、各担当科の医師や看護師と「連携」しながら支援を行っています。

当院の精神科リエゾンチームのメンバーは精神科医師、認知症看護認定看護師、集中ケア認定看護師（精神及び神経症状の特定行為研修修了）及び薬剤師で構成されており、それぞれの専門性を活かしたチーム医療を行っています。



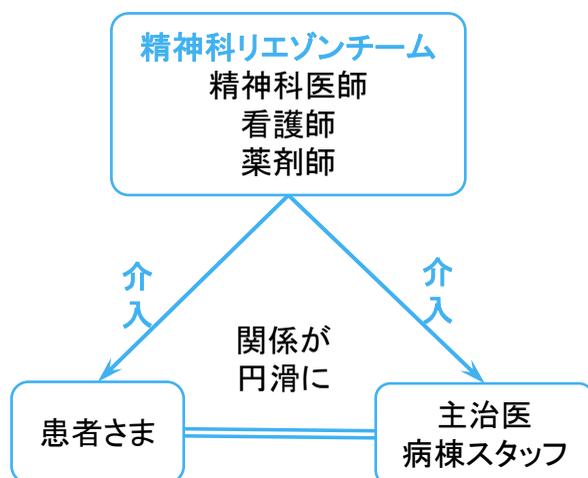
リエゾン liaison の頭文字Lのサイン

## 市立池田病院・精神科リエゾンチームの特徴

- 常勤の精神科専門医をチーム責任者に配置し、入院治療中も継続して専門的な精神科医療を迅速に提供できます。
- 回診では患者さまへの直接介入や医療チームへのコンサルテーションを行っています。  
(直近3ヶ月の平均回診加算数15件/週)
- より質の高い医療の提供とコンプライアンス確保のため、2023年7月には、日本総合病院精神医学会（いわゆるリエゾン学会）の施設認定を申請しています。

## 主な活動内容

- せん妄の予防や評価、早期からのケア、薬物治療
- せん妄や転倒の予防に留意した薬剤の適性使用の推進
- 精神疾患の既往のある患者さまへの継続的な治療の提供
- 入院後に新たに出現した精神症状への対応
- 身体拘束を行っている患者さまの評価と対応
- 意思決定が難しい患者さまへの精神的な評価や支援
- 院内で発生したメンタルヘルスにおける諸問題への対応



## 精神科医師

専門はリエゾン精神医学全般。只今、リエゾン学会の専門医・指導医取得に向け絶賛勉強中です！身体疾患治療中の抑うつ症状や不安症状、せん妄症状など各種精神症状に対応します。

## 認知症看護認定看護師

患者さまが何に困っているのかに耳を傾け、その方に応じた関わりをしています。また、昼夜の生活リズムを保つため、療養環境の調整や、知り得た情報をチームへ共有しています。

## 集中ケア認定看護師

### 精神及び神経症状の特定行為研修修了

入院という非日常な環境により不安定になる精神症状に対してアセスメントを行い、チームとしてタイムリーに患者さまへ対応することで、安全、安心に入院生活を過ごしていただけるよう取り組んでいます。

## 薬剤師

処方内容やチームで取り扱う向精神薬の薬学的管理、処方支援、副作用モニタリングを行います。各病棟薬剤師と連携しながら、患者さまに安全な入院生活を送っていただけるよう適正な薬物療法を支援いたします。



精神科リエゾンチームは、患者さまに入院治療中も安心して精神科医療を受けられるようサポートを続けてまいります。

# 薬剤師による手術前の服薬管理指導

抗血小板薬や抗凝固薬などを手術前に服薬中止する必要がある場合、患者さまの理解のもと確実な服薬中止ができていなければ、予定していた手術が延期となります。手術延期を回避し、患者さまが安全に手術を受けられるよう、薬剤部では、手術を予定している患者さまに対して、入院前に「**術前薬剤師外来**」を行っています。

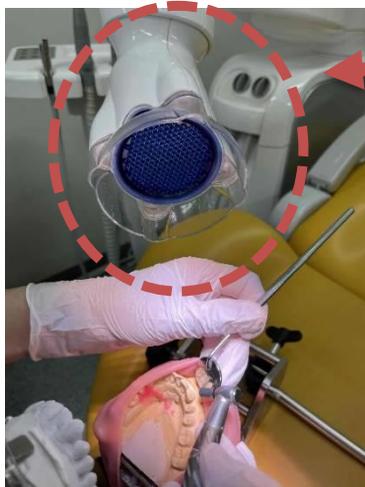


## 【術前薬剤師外来】

ジェネリック医薬品の普及により薬剤の種類が大幅に増え、また、社会の高齢化に伴い多疾患・多剤投与の患者さまが増加したことなどから、薬剤師の目で手術前の確認を行っています。

■ 休薬のチェック ■ 中止薬のお知らせ ■ 中止薬の開始日の説明 ■ サプリメント・健康食品のチェック など

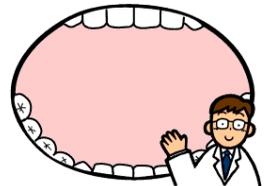
# 口腔ケアセンター：With コロナの口腔ケア



## 口腔外バキューム

当院の口腔ケアセンターでは、周術期や化学療法、ステロイド療法、ビスフォスホネート投与前などいろいろな治療タイミングで口腔ケアを行っております。

診療室内では、処置としてスクレーピングや歯面清掃を行うことがよくあります。当然のことながら飛沫やエアロゾルが発生するため、患者さまからスタッフなどへ院内感染のリスクも高く、手指衛生、PPE(個人防護具)の着脱のみならず、口腔外バキュームも操作しながら少しでも感染のリスクを軽減するよう努めております。



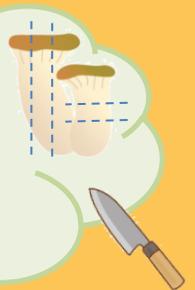
今月の一品



## エリンギと豆苗のガリバターソテー



エリンギは切り方によって食感が変わります。繊維に沿って切ると歯応えのある食感になり、繊維を断つように切るとやわらかくなります。手でさくようにすると味がよく染み込みます。



### 材料(2人分)

エリンギ	100g(2本)
豆苗	150g(1/2袋)
★醤油	大さじ1/2
★ニンニクチューブ	1cm
★塩こしょう	少々
バター	10g

### 《作り方》

- ① エリンギはお好みの大きさに薄切りにする。
- ② 豆苗は根元を切り落とし、半分に切る。
- ③ 熱したフライパンにバターを溶かし、①と②をしんなりするまで炒める。
- ④ ★を加え、全体に味がなじむまで炒める。
- ⑤ 皿に盛り付けて完成。

栄養管理科

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想等をお寄せください。

〒563-8510  
大阪府池田市城南3丁目1番18号  
TEL 072-751-2881 (代表)  
FAX 072-754-6374  
URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>  
編集・発行：市立池田病院 広報委員会



アカウント：  
ikeda\_city\_hospital

バックナンバー

